

# 3 地域環境の保全

## 環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の2014年度の取扱量等については、2013年度と同程度の実績となりました。排出量の大半は、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレンとトルエンが占めています。

また、PCB廃棄物は、2014年度に38台の無害化処理を行った結果、2015年3月末現在の保有量は、1台のみとなりました。この1台については、2015年度に処理予定です。保管中のPCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。

**WEB** 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) >  
 PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取得量等実績・  
 発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績 (グループ会社)

### PRTR制度における指定化学物質の取扱量等 単位:トン

	2012年度		2013年度		2014年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		93.5		41.1		39.8
排出量(大気)	6	20.5	6	20.4	6	20.0
移動量		70.1		101.2		100.1

(注) PRTR制度の指定化学物質で届出が必要なデータを計上。

### PCB廃棄物の保有状況等 (2014年度) 単位:台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	1	1
コンデンサ	—	—	—	—
安定器	1	38	—	—
合計	1	38	1	1

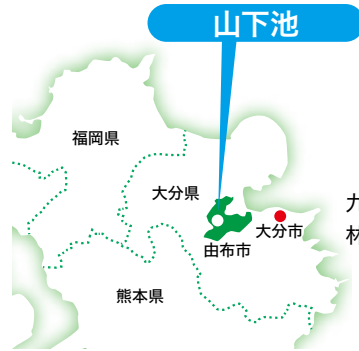
### 大気汚染物質の排出量 単位:千トン

	2012年度		2013年度		2014年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		1.4		1.1		2.1
NOx排出量	4	2.4	4	2.5	4	2.9

(注) ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

## >>私の環境アクション

### 山下池周辺に多くの世代が集う「環境活動の場」を整備しました (九州林産株)



九州林産株  
 林業部 森林経営グループ  
 ばば じゅん こ  
 馬場 純子

当社は、風光明媚な山下池近くで営業していた釣堀・御食事処の原状復旧にあたり、この場所が、多くの世代が集う「環境活動の場」として活用されるよう整備に着手しました。

自然景観や生物多様性に配慮し、自然の溪流に近い状態への復元を目指しており、2015年5月に整備が終わりました。将来的には、多くの人々が自然とふれあいながら学べる、多様な生きものが棲む緑豊かな溪流となるよう、引き続き、関わっていきたく考えています。

これまで学んできた森林生物学の知識を活用し、環境保全の大切さを伝えたいと願う者として、このようなチャンスを得たことに喜びを感じています。

今後も、従来から実施している環境諸活動を持続的に展開し、当社が育成管理している九州電力社有林の持つ公益的機能の価値を社会に提供できるよう取り組んでいきます。



整備前



整備後



将来のイメージ

用語集をご覧ください

- >>PRTR制度
- >>キシレン
- >>トルエン

- >>指定化学物質
- >>地球温暖化
- >>PCB(ポリ塩化ビフェニル)

- >>大気汚染
- >>SOx (硫黄酸化物)
- >>NOx (窒素酸化物)

- >>ばい煙
- >>生物多様性
- >>社有林